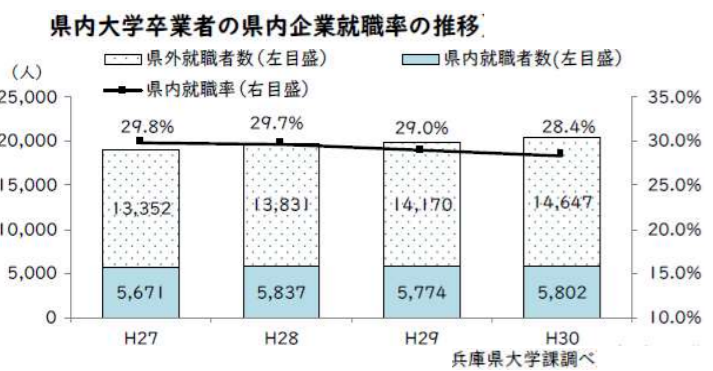
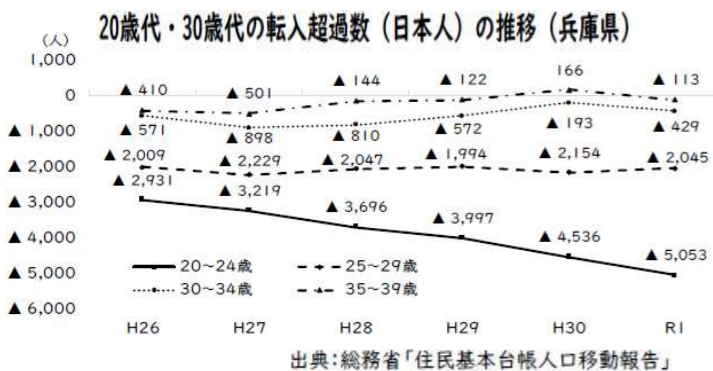


若者就業対策の推進

第二期地域創生戦略において、「地域の元気づくり」を推進することにより、住みたい、住み続けたい地域を創り、県内への定着・環流、婚姻数の増加、出生数の増加等につなげる好循環を目指して施策を推進しているところであるが、とりわけ、若者人口の転出が顕著なことから、若者の定着・環流を実現し、転出超過に歯止めをかけるための施策を分野横断的に展開する。

1 現状

- (1)本県人口の転出超過の太宗を 20 歳代の若者が占めている
- (2)特に県内大学生の県内就職率は 28.4%(H30)にとどまり、東京・大阪への転出が拡大
- (3)就職期に当たる 20 歳代前半の転出超過数は、H26 年からの 5 年間で 1.7 倍増
- (4)若者が希望する事務系職種は、本社機能が集積する東京や大阪に集中しており、地元企業の認知不足とあわせて、県内就職率は 3 割弱で推移
- (5)一方、大学生の約 3 割が 3 年で離職。東京圏等に流出した大学生は、潜在的な U ターン候補者として期待
- (6)カムバックひょうごセンターでの移住相談を通じて移住した者の多くが 20~30 歳代の若者



2 課題

- (1)地元で暮らし、働くという意識の醸成が必要
- (2)インターシップの充実や SNS 等を活用した地元企業の情報発信の強化が必要
- (3)県内就職を希望する大学生は 65.5%(令和元年度・兵庫県地域創生課調)にのぼり、県内企業との更なるマッチングが必要
- (4)若者が望む就業の場の創出や起業・創業の促進が必要
- (5)若者暮らしがよくなる街づくりや大阪等、県外に就業しても県内に居住してもらうための方策が必要

3 施策方向

(1)若者が兵庫で「働く」

【就業対策】

- ア 若者が働きたい企業がある**
- ①雇用拡大につながる企業誘致の促進
 - ②Society5.0 を牽引する産業の集積促進
 - ③次世代産業の創出
- イ 職業観が育まれる(就活前)**
- ①豊かな心の育成
 - ②県内就業意識の高揚
- ウ 自分に合う仕事に就く(就活時)**
- ①地元企業と若者とのマッチング強化

【企業・就農対策】

- ア 企業の機運が醸成される**
- ①多様な主体による起業・創業の更なる支援
 - ②農林水産業の担い手育成
- イ 事業化する**
- ①有望な起業家の成長支援
 - ②農林水産業の担い手育成【再掲】

(2)若者が兵庫で「暮らす」

【まちづくり】

- ア 若者が暮らしがよくなる活気あふれる街がある**
- 都市のリノベーションの推進
- イ 高利便でリーズナブルな住宅がある**
- オールドニュータウン等の住宅地の再生

(3)第二新卒者等が兵庫に「還る」

【UJIターン対策】

- ア 県外在住でも常に兵庫情報が入る**
- 第二新卒者等、若年層の UJI ターンの支援
- イ 兵庫に仕事を見つけ UJI ターンする**
- 第二新卒者等、若年層の UJI ターンの支援(再掲)

4 事業内容(R2)

【就職対策】

ア 若者が働きたい企業がある

- ①(拡)産業立地促進補助・税軽減(産業労働)1,814,552千円
- ②(拡)IT戦略推進事業(産業労働)81,757千円
- ③ひょうご次世代産業高度化プロジェクトの推進(産業労働)566,497千円

イ 職業観が育まれる(就活前)

- ①地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」(教育委員会)179,253千円
- ②(拡)ふるさと貢献活動の実施(教育委員会)60,360千円
- ③(拡)地域との協働による先進的教育研究開発事業(教育委員会)21,900千円
- ④高校・大学生「兵庫就活」促進事業(産業労働)27,151千円
- ⑤(新)低学年向け民間インターンシップ(1・2年生100人)(産業労働)
※大学生インターンシップ推進事業(産業労働)22,567千円の内数
- ⑥(拡)大学生等ライフプランニング教育「StayHyogo 促進事業」(企画県民)1,197千円

ウ 自分に合う仕事に就く(就活時)

- ①「ひょうごで働こう!マッチングサイト」の運営(産業労働)
(拡)ひょうごで働こう!UJIターン広報・就職促進事業(産業労働)89,060千円の内数
- ②(拡)大学生インターンシップ推進事業(産業労働)22,567千円
- ③県内大学と連携した就活支援事業(産業労働)18,947千円

【起業・就農対策】

ア 起業の機運が醸成される

- ①(新)神戸大学と連携した起業人材の育成(産業労働)15,000千円
- ②「起業プラザひょうご」の運営(産業労働)28,963千円
- ③(新)起業プラザひょうご姫路・尼崎の設置・運営(産業労働)41,726千円
- ④起業家への支援(産業労働)308,741千円
女性起業家支援事業、若手起業家支援事業(35歳未満)等
クリエイティブ起業創出事業(クリエイティブで成長志向のビジネスプランを有する起業家向け)
- ⑤新規就農者の確保・育成(農政環境)17,652千円
ひょうごの農トライアル事業、ひょうごde就農サポート事業

イ 事業化する

- ①(新)G I C (グローバル・イノベーション・センター)の開設・整備(産業労働)77,421千円
- ②(拡)コワーキングスペース開設支援事業(産業労働)27,803千円
- ③(新)スタートアップ応援ファンド(仮称)への支援(産業労働)
- ④農業人材の確保(農政環境)474,004千円
農業次世代人材投資資金の利用促進、地域の担い手定着応援事業等

(1)働く

(2)暮らす

(3)還る

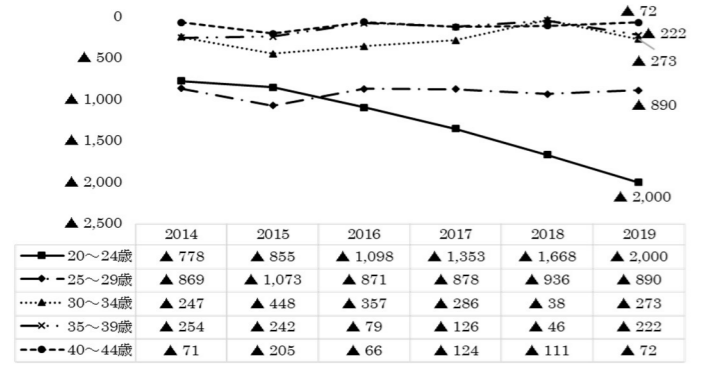
女性定着・若者結婚対策の推進

少子高齢化による若年女性人口の減少、20歳代前半の女性の転出超過、50歳時未婚率の上昇は、婚姻数減少や少子高齢化にも大きな影響を及ぼしている。このため、①女性が兵庫で「働く」、②女性が兵庫で「暮らす」、③男女の「結婚・子育て」の願いを叶える、の3つの観点から横断的かつ重点的な施策展開を図り、女性の県内定着や若者の結婚を促進する。

1 現状

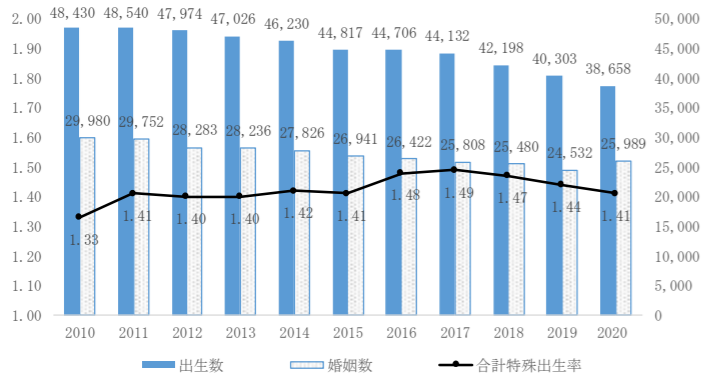
- 本県の若年女性人口（20～39歳）は、平成27年からの5年間で約5.8万人（▲14.4%）減少
- 20～24歳女性の転出超過数は、令和元年で▲2,000人と、平成27年の▲855人と比較して、約2.3倍
- 初婚年齢や第一子平均出産年齢は、横ばいで推移、5歳時未婚率は平成12年からの15年間で約2.5倍に上昇
- 減少傾向にあった婚姻件数は、いわゆる「令和婚」により、令和元年は前年比増となったものの、今後は反動減が予想される
- 4.4万人を維持してきた出生数は、平成29年以降、毎年2,000人減少し、令和元年には4万人を下回る

【兵庫県の転出超過数（女性20～44歳）の推移】



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

【兵庫県の婚姻数及び出生数の推移】



出典：兵庫県統計課調

2 課題

- 若年女性が希望する職種（事務系職種）と求人とのミスマッチの解消、県内企業の情報発信の充実
- 就職、結婚、出産などライフステージが変化しても暮らし続けたいというまちづくり
- 早い段階から結婚や出産などライフプランを考える機会の充実、出会いや結婚のきっかけづくり
- 仕事と子育てが両立できる生活・就労環境の整備

3 施策方向

(1) 女性が兵庫で「働く」

【就職対策】

- ア 女性が力を発揮できる仕事がある**
- 本社機能や事務所等の立地の促進
 - ものづくり分野での女性就業の促進
 - 職場の意識改革等、女性登用の推進
- イ ライフプランを立てる（就活前）**
- ライフプランニングの機会の提供
 - 企業等で活躍するロールモデルの発信
- ウ 自分に合う仕事に就く【再掲】**
- ※若者就業対策の再掲

(2) 若者が兵庫で「暮らす」

【生活空間対策】

- ア 女性・ファミリー層が暮らしたくなる上質な生活空間がある**
- 商業業務機能の集積等によるにぎわいの創出
 - 芸術文化に親しむ機会の充実
 - 都市緑化等快適なまちなみの保全
 - 確かな学力の育成

(3) 男女の「結婚・子育て」の願いを叶える

【結婚・子育て対策】

- ア 結婚の機運の醸成**
- 結婚や子育てが楽しいと思える意識の醸成
 - 出会い・結婚支援の充実
- イ 希望の時期に希望の人数の子どもを持つ**
- 妊娠・出産の不安解消
 - 子育てや教育に関する負担の軽減
- ウ 仕事と子育てを両立する**
- 安心して働くことができる保育環境の充実
 - 女性活躍の推進

4 事業内容(R2)

【就職対策】

ア 女性が力を発揮できる仕事がある

- (拡)産業立地促進補助・税軽減（産業労働）1,814,552千円
- (拡)観光・おもてなし貸付の整備（産業労働）（融資枠3,600億円内数）
- ものづくり分野における女性就業の促進（産業労働）3,000千円
- 女性の活躍推進（企画県民）41,513千円
- 女性起業家支援事業（産業労働）補助額 ※起業家への支援（産業労働）308,741千円の内数

イ ライフプランを立てる（就活前）

- (拡)大学生等ライフプランニング教育「StayHyogo 促進事業」（企画県民）1,197千円
- 若年女性に向けた県内定着PR事業（産業労働）9,510千円
- (拡)女子学生と企業のプレマッチング支援事業（産業労働）6,369千円

ウ 自分に合う仕事に就く【再掲】

【生活空間対策】

ア 商業業務機能の集積等によるにぎわいの創出

- まちづくりとの連携による商店街活性化（産業労働・県土整備）158,878千円
- 商店街・小売市場共同施設建築費の支援（産業労働）72,000千円

イ 芸術文化に親しむ機会の充実

- (拡)芸術文化センターの事業展開・機能強化（企画県民）460,000千円
- 県立美術館「芸術の館」の事業展開（教育委員会）275,293千円
- (拡)ひょうご芸術文化の普及・振興（企画県民）159,003千円
- (新)「地球アトリエ」構想の推進（県土整備）200,000千円

ウ 都市緑化等快適なまちなみの保全

- 県民まちなみ緑化事業の推進（県土整備）640,000千円
※一般緑化、校庭・ひろば・駐車場の芝生化、屋上・壁面緑化、大規模都心緑化

エ 確かな学力の育成

- 高大接続改革事業の実施（教育委員会）17,457千円
- (新)STEAM教育（新たな文理融合型教育）の展開（教育委員会）19,500千円
- ひょうごスーパーハイスクール事業の実施（教育委員会）15,000千円

【結婚子育て対策】

ア 結婚や子育てが楽しいと思える意識の醸成

- (拡)大学生結婚・子育て未来体験事業（健康福祉）2,851千円
- (拡)出会い・結婚支援事業（企画県民）114,939千円
※専門職向け出会い支援事業、(新)民間婚活事業者との連携強化、(新)スマホ婚活システムの構築、広報PR強化(会員数拡大に向けたLINE、ターゲティング広告の活用)

イ 希望の時期に希望の人数の子どもを持つ

- (新)周産期医療搬送調整拠点の整備（健康福祉）14,812千円
- (新)特定専門医研修資金貸与事業（健康福祉）12,000千円
- 産科医等育成・確保支援事業（健康福祉）49,600千円
- (新)不安や悩みを抱える若年妊婦等支援事業（健康福祉）8,028千円
- 特定不妊治療費助成の実施（健康福祉）411,766千円
- 幼児教育・保育の無償化（健康福祉）8,275,493千円
- ひょうご保育料軽減事業の実施（健康福祉）379,080千円
- 多子世帯保育料軽減、第2子保育料軽減事業、第1子保育料軽減事業
- 乳幼児等医療費助成の実施（健康福祉）3,087,383千円
- (拡)就学支援の実施（教委）16,478,715千円
- (拡)私立高等学校等の授業料軽減（企画県民）780,168千円
- (新)高等教育の無償化に伴う授業料・入学金免除（教委）1,340,499千円

ウ 仕事と子育てを両立する

- 保育所・認定こども園整備等の推進（健康福祉）1,289,529千円
- 病児・病後児保育事業の充実（健康福祉）474,126千円
- 地域子ども・子育て支援事業等の実施（健康福祉）6,663,190千円
- ひょうご放課後プラン（教委）3,856,088千円
- (拡)ひょうご仕事と生活センター事業の推進（産業労働）455,527千円
- (新)多様な働き方推進事業（産業労働）4,668千円

(1) 働く

(2) 暮らす

(3) 願いを叶える

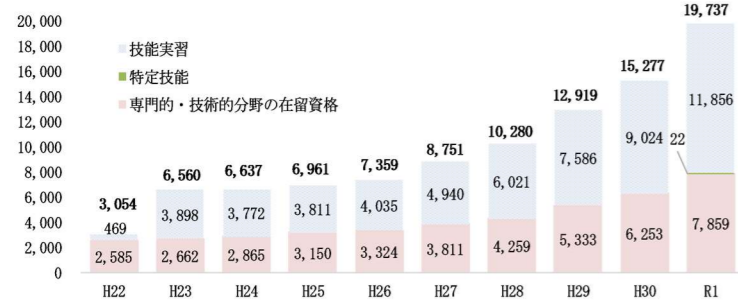
外国人材活躍対策の推進

生活やビジネス環境の充実を背景に、外国・外資系企業、そこで働く外国人とその家族、技能実習生、留学生等の兵庫への集積、集住を進め、地域の活力と賑わいを創出する
また、外国人が安心して日常生活を営める環境が整うとともに、ICT等も活用して言葉の壁を乗り越えながら、多様な文化的背景を持つ外国人が地域に溶け込む多文化共生社会の実現を目指す。

1 現状

- 県内への訪日外国人旅行者は、平成23年以降増加傾向にあり、平成30年は対前年度比19%増の187万人と過去最高を記録したが、大阪(1,141万人)、京都(804万人)には、大きく水をあけられている。
- 外国人労働者は34,516人と4年間で2倍に急増。大都市圏で小売業・サービス業に就く「留学生」、地方都市圏・多自然地域で製造業・農林水産業に就く「技能実習生」など、各地域で産業の担い手となっている。
- 国の留学生30万人計画の推進、新在留資格「特定技能」を盛り込んだ改正出入国管理法の施行により、今後も増加を見込み。
- 外国人を含む本県の転出超過は、平成30年には▲5,330人、4年間で2,077人の流入増加(流出抑制)。平成30年の推計人口では、社会増減は、外国人の出入国状況等を加味した数値として、1,224人の転出超過となっており、外国人を含む社会増減の現状は、実際には更に改善している可能性もある。

【外国人材の推移(兵庫県)】



(出典：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況について」)

2 課題

- 大規模工業団地を擁する地方都市圏では、外国人労働者は企業の管理下で地域社会とは分断されて生活している。地域の一員として共生できる環境整備が必要。
- 大都市圏では、高度外国人材を惹きつける環境整備が必要であり、また、留学生を中心に県内定着を図る取組の強化が必要。

3 施策方向

(1)外国人が集まる・楽しむ

【交流促進】

ア 世界から選ばれる投資環境の整備

- 兵庫の優れたビジネス・生活環境を発信
- 税制優遇など立地のインセンティブを強化

イ 国際ツーリズムの促進

- 海外での兵庫県の認知度やブランド力の向上
- リピーターや長期滞在客の増加と観光消費の拡大

(2)多文化共生社会の実現

【生活支援体制の確立】

ア 誰もが暮らしやすい生活基盤づくり

国籍を問わず、地域の構成員として支え合い、安全・安心な生活を送れるよう、様々な交流を促進する。

イ 外国人材の県内定着の促進

技能実習生や留学生等が急増しているなか、地域コミュニティの担い手として受入れを促進する。

(3)外国人材の活躍推進

【人材確保対策】

ア 高度外国人の受け入れ促進

情報通信やデータサイエンス分野等における外国人材の受入れや、高度な地域や技術力を持つ留学生の県内定着を促進する。

4 事業内容(R2)

(1)集まる・楽しむ

【交流促進】

ア 世界から選ばれる投資環境の整備

- (拡)国際経済拠点の形成推進(産業労働)19,363千円
- 拠点地区進出のための貸付制度(融資枠100億円)(産業労働)
- ひょうご・神戸投資サポートセンターの運営(産業労働)69,363千円
- (拡)戦略的な立地促進活動の展開(産業労働)81,197千円
- (新)スタートアップビザの拡大(産業労働)1,427千円

イ 国際ツーリズムの促進

- (拡)インバウンド誘客の促進(産業労働)18,242千円
- (拡)ひょうごゴールドルートの推進(産業労働)20,123千円
- (拡)外国人旅行者の関心に応えるプロモーションの展開(産業労働)29,510千円

(2)多文化共生

【生活支援体制の確立】

ア 誰もが暮らしやすい生活基盤づくり

- ひょうご多文化共生総合相談センターの運営(産業労働)42,909千円
- 日本語教育支援の充実(産業労働)19,303千円
- 母語教育支援の充実(産業労働)7,158千円
- (拡)子ども多文化共生教育の推進(教育委員会)100,293千円【再掲】
- 外国人児童生徒のための学習支援(教育委員会)35,688千円

イ 外国人材の県内定着の促進

- (新)在住外国人生活支援モデル事業(産業労働)1,000千円
- (拡)外国人介護人材の受入環境の強化(健康福祉)13,907千円
- (新)外国人雇用HYOGOサポートデスクの設置(産業労働)15,770千円

(3)外国人材の活躍

【人材確保対策】

ア 高度外国人の受け入れ促進

- (拡)国際経済拠点の形成推進(産業労働)19,363千円【再掲】
- (拡)戦略的な立地促進活動の展開(産業労働)81,197千円【再掲】
- ひょうご・神戸投資サポートセンターの運営(産業労働)69,363千円【再掲】
- ジェットロと連携した高度外国人材確保の支援(産業労働)4,000千円
- (新)スタートアップビザの拡大(産業労働)1,427千円【再掲】
- 外国青年の招へい(JETプログラム)(産業労働)22,206千円
- 外国人留学生対策の推進(産業労働)28,620千円
- HUMAP構想の推進(企画県民)56,344千円

交流・移住対策の推進

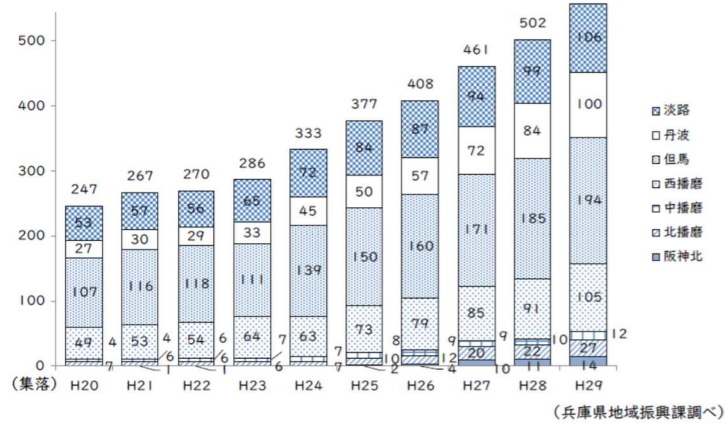
兵庫の多様な地域資源を活かした魅力的な旅行商品の造成や効果的なプロモーションの展開などにより、県内外からの誘客を促進し、地域内での消費に結びつける。また、定住人口に加え、人口が減少し活力が失われつつある地域と、地域にゆかりのある人をつなげることにより、新たな地域の担い手となる関係人口を創出する。

1 現状

- (1) 2021年の東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西、2025年の大阪・関西万博の開催を機に、国内外から多くの観光客が関西・兵庫を訪れることが予測
- (2) 観光客の志向がモノ消費からコト消費へとシフトするなか、地域資源を活かした体験型・滞在型ツーリズムに対する要望が増加
- (3) 最近10年間で神戸・阪神地域や東播磨地域の人口はほぼ横ばいの一方で、但馬地域や淡路地域は10%以上減少し人口偏在が顕在化。合併市町では、特に旧役場の所在地周辺が疲弊し人口が減少。小規模集落

【図表Ⅱ-9 小規模集落数の推移（兵庫県）】

小規模集落数の推移（兵庫県）



2 課題

- (1) インバウンド客の増加予想に対する対応
- (2) インバウンド客の短い滞在時間
- (3) 人口減少により、集落の維持が困難
- (4) 高齢化、過疎化が進み、空き家や空き店舗、廃校舎が多く存在
- (5) 交流を支える交通基盤が脆弱

3 施策方向

(1) 地域資源を活かした交流人口の拡大

ア 県内外からの誘客促進

- ① 兵庫の地域資源を活かしたコンテンツの開発
- ② 新しいツーリズムの開発・推進
- ③ メディアを活用した効果的な観光情報発信
- ④ ターゲットを絞った観光PRの展開

イ 国際ツーリズムの促進

- ① 滞在型観光プログラムの開発
- ② 地域特性に合わせたプロモーションの展開
- ③ SNSや動画サイトによる口コミ情報発信強化

(2) 定住人口・関係人口の創出・拡大

ア 二地域居住・都市農村交流の促進

- ① 都市と農山漁村との交流促進
- ② 農園整備や農業体験民宿への改修支援
- ③ 情報発信・マッチング機能の強化
- ④ ボランティア活動に対する支援

イ 関係人口創出・拡大

- ① 民間事業者等と連携した関係人口創出・拡大
- ② 地域おこし協力隊等の地域活動促進
- ③ 地域活性化活動への支援
- ④ 大学生による地域再生活動への支援
- ⑤ ふるさと応援交流センターによるマッチング推進

ウ 空き家等の有効活用

- ① 都市部の空き家等の有効活用の推進
- ② ニュータウンにおける流通モデルの構築
- ③ 土民家活用と長組・まちなみ保全

(3) 交流を支える交通基盤の充実

- ① 基幹道路ネットワークの整備推進
- ② 関西3空港、但馬空港の利活用
- ③ 地域公共交通網の充実
- ④ クルーズ旅客船の受入環境の強化

4 事業内容(R2)

ア 県内外からの誘客促進

- ① (拡) 内外からの誘客に向けた受入環境の整備(産業労働) 71,034 千円
- ② 「あいたい兵庫」プロモーションの展開(産業労働) 40,000 千円
- ③ (新) 首都圏プロモーション事業(産業労働) 8,000 千円
- ④ (新) 観光PR動画「わたし、ひょうごで旅します。」の制作(産業労働) 5,000 千円
- ⑤ (拡) 伊丹空港における県観光・物産情報コーナー運営(産業労働) 19,019 千円

イ 国際ツーリズムの促進

- ① (拡) インバウンド誘客の促進(産業労働) 18,242 千円
- ② (拡) ひょうごゴールデンルートの推進(産業労働) 20,123 千円
- ③ (拡) 外国人旅行者の関心に応えるプロモーションの展開(産業労働) 29,510 千円

ウ 観光客受入基盤の整備

ア 二地域居住・都市農村交流の促進

- ① ふるさと応援交流センターを拠点とした都市農村交流の促進(企画県民) 3,250 千円
- ② 「五国の元気づくり交流拠点モデル」の支援(企画県民) 25,200 千円
- ③ 楽農学校事業の実施(農政環境) 15,332 千円
- ④ ひょうご市民農園の整備促進(農政環境) 72,632 千円
- ⑤ 田舎暮らし農園施設整備支援事業の実施(農政環境) 12,886 千円

イ 関係人口創出・拡大

- ① 〇ひょうご関係人口創出・拡大事業(企画県民) 14,500 千円
- ② (拡) 県版地域おこし協力隊による小規模集落の支援(企画県民) 129,330 千円
- ③ 大学等との連携による地域創生拠点での活動支援(企画県民) 6,445 千円
- ④ 小規模集落起業促進事業の実施(企画県民) 14,969 千円
- ⑤ 「がんばる地域」交流・自立応援事業の実施(企画県民) 84,774 千円

ウ 空き家等の有効活用

- ① 空き家活用支援事業(県土整備) 93,389 千円
- ② (拡) 古民家再生の促進支援(県土整備) 45,322 千円
- ③ 戦略的移住推進モデル事業の実施(企画県民) 29,994 千円

ア 交流を支える交通基盤の充実

- ① 基幹道路の整備(県土整備) 287,122 千円
- ② 空港の有効活用(県土整備) 20,300 千円
- ③ 地域公共交通の活性化(県土整備) 839,337 千円
- ④ 港湾の有効活用(県土整備) 651,000 千円

(1) 交流する

(2) 定住する・関係する

(3) 支える